# ニューロダイバーシティと 発達障害学生支援

2021/1/15 世界の職業リハビリテーション研究会

筑波大学人間系准教授 佐々木銀河





### 自己紹介

#### 資格等

- 博士(障害科学),公認心理師,臨床発達心理士,保育士
- 福祉情報技術コーディネーター1級

#### 経歴

- 筑波大学大学院人間総合科学研究科障害科学専攻 博士後期課程 修了
- 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター) 協力教員
- 筑波大学に在籍する発達障害の診断または傾向のある学生への相談・支援のほか、研究活動を行うう
- 学外委員:独立行政法人日本学生支援機構「障害学生に関する紛争の防止・解決等事例集」協力 者

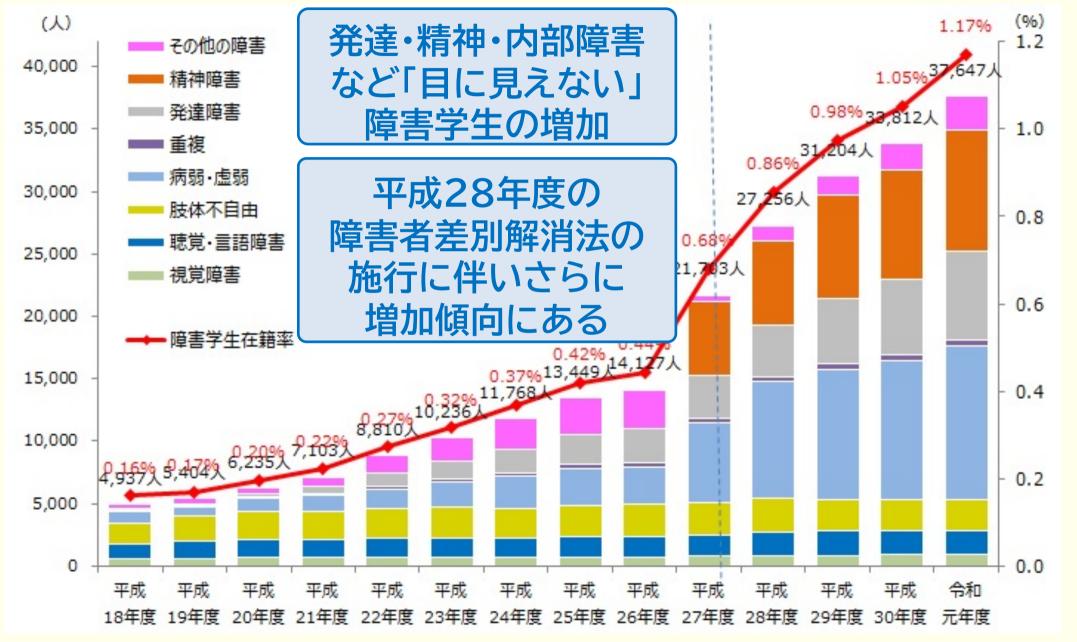
#### 研究・実践テーマ

- 児童福祉施設職員に対する組織行動マネジメント
- 知的・発達障害のある人を支える支援技術の開発・実装
- 発達障害の診断または傾向のある大学生の修学支援





## 全国の障害学生の在籍状況



## 大学における発達障害学生の支援

#### 授業での支援

- ・配慮依頼文書の配布(43.4%)
- ・講義に関する配慮(28.0%)
- ・ 出席に関する配慮(23.9%)

#### 授業以外での支援

- 専門家によるカウンセリング(35.9%)
- · 自己管理指導(24.2%)
- · 対人関係配慮(20.5%)

#### 進路·就職指導

- ・ 就職支援情報の提供(18.8%)
- ・ キャリア教育(15.5%)
- ・障害学生向け求人情報の提供(13.8%)

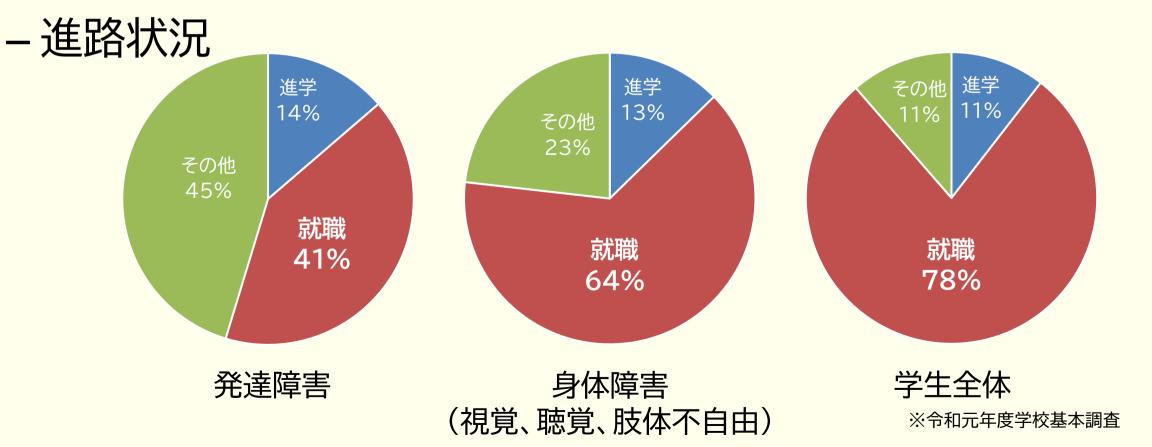




## 発達障害学生の卒業後進路状況

### JASSO (2020)

- 大学における卒業率 65.4%
  - 卒業障害学生数/最高年次障害学生数



## 発達障害学生のニーズと支援の関連

				授業外支援			
主訴・相談内容			専門家による	医療機関との		就職支援情報	就職先の開拓
	自己管理指導	対人関係配慮	カウンセリング	連携	キャリア教育	の提供・紹介	就職活動支援
	n = 23	n = 5	n = 22	n = 26	n = 16	n = 15	n = 14
レポートや課題を期日までに提出することが難しい( $n=27$ )	0.722	0.134	0.729	0.272	0.471	0.073	0.061
レポートや課題にすぐに取り掛かれないことが多い(n = 25)	0.728	1.000	0.323	0.270	0.742	0.728	0.486
レポートや課題の意図を理解して解くことが難しい (n=8)	0.440	1.000	0.698	0.232	1.000	0.114	0.216
複数の課題が重なった時に同時に対応することが難しい( $n\!=\!20$ )	1.000	0.170	0.112	0.164	1.000	0.320	0.503
他の刺激が気になって試験に集中することが難しい (n=5)	1.000	0.527	0.374	0.643	0.632	1.000	0.633
レポートや課題の存在や期限を忘れてしまうことが多い( $n=18$ )	0.052	1.000	0.342	1.000	0.112	0.052	0.000 ***
授業に継続的に出席することが難しい (n=15)	0.514	1.000	0.506	0.728	0.506	0.736	0.329
授業中の音が気になって授業に集中することが難しい $(n=7)$	1.000	0.561	0.425	0.656	0.675	1.000	1.000
授業を聞きながらノートを取ることが難しい(n = 14)	1 000	1 000	0 187	0.728	0.510	1 000	1 000
対活の開始に関する抵抗を示す学生に対して							

就活の開始に関する抵抗を示す学生に対して 「キャリア教育(障害理解,職業適性の把握等)」を実施することが多い

#### 課題を忘れてしまう学生では「就職活動支援」を実施するケースが少ない 修学上の課題が一定程度解決されないと就職活動支援にたどり着かない可能性あり

	0.102	0.011	1.000	1.000	1.000	1.000	0.100
全体的に単位取得率が低い (n=16)	0.743	1.000	0.100	0.178	0.326	0.506	0.309
特定の授業・単位を取得することができない( $n=9$ )	1.000	0.574	0.706	1.000	0.706	1.000	0.438
学位論文・研究が遂行できない( $n\!=\!11$ )	1.000	1.000	0.729	1.000	0.471	0.722	0.061
休学・留年をしている(する予定である)(n=12)	0.481	0.643	0.504	0.268	0.289	0.481	0.728
就活を始めることができない $(n=5)$	1.000	0.527	0.061	0.643	0.009 **	0.069	0.337



### 障害学生を取り巻く雇用と進路

#### 一般雇用枠

- 昇給がある、仕事の選択肢が多い
- ▲ 障害に関する理解や配慮を得にくい場合がある、 苦手な仕事を求められることがある

#### 障害者雇用枠

- 障害に関する理解や配慮を受けながら働ける、 特例子会社の場合は専門の指導員も配置
- ▲ 正社員の雇用が少ない、 給料がやや安く、昇給しにくい

#### 就労支援機関の利用

- 就労準備のための訓練や作業を行う
  - 就労移行支援
  - 就労継続支援(A型・B型)



## 海外の発達障害学生支援の現状

大学名(国名)	障害学生数/ 全学生数*	障害学生の 割合*	障害学生に占める発達障害 学生等の割合*	
ケンブリッジ大学 (イギリス)	2089/19500	10.7%	41.7%	
ワシントン大学 (アメリカ)	1200/15000	8.0%	43.0%	
シラキュース大学 (アメリカ)	2024/22800	8.7%	54.7%	
筑波大学 (日本)	134/16000	0.8% **	50.7%	

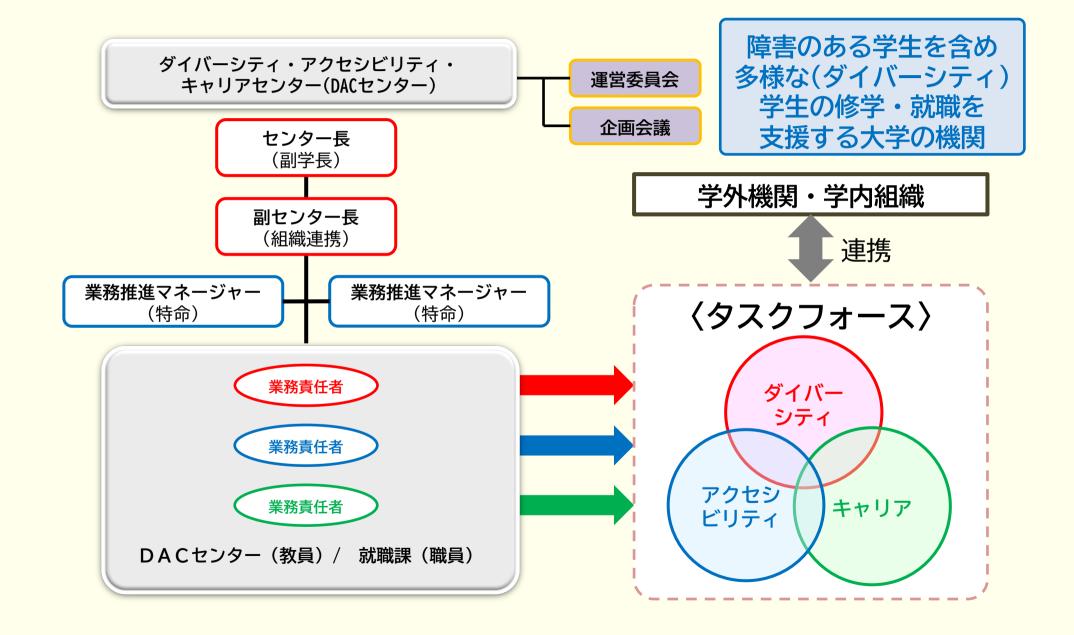
欧米の大学では障害のある学生に対して 積極的に支援が提供されている



<sup>\* 2011-2019</sup> 筑波大学DACセンターの調査に基づく

<sup>\*\*</sup> 精神障害学生を除く

### DACセンターの概要





### 発達障害学生支援(RADD) プロジェクト

さまざまな特性(カラー)をもった学生が豊かな 学生生活を送れるよう支援を充実させるプロジェクト

「ホームページ】https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/





### 発達障害を含む、さまざまな特性をもった学生が 豊かな学生生活を送れるようにするための研究・実践プロジェクト

#### ラーニングサポート ブック(LSB)



支援情報配信サービス

「ラーニングサポートブック(LSB)」は、 発達障害の診断や傾向のある学生に役立ったツールやテクニックなどの支援技術(AT)を掲載したWEBサービスです

LSBは筑波大学のピア・チューター(支援学生)が作成し、「障害」のラベルを用いず「ニーズ」表記で示しています

LSBは全国の大学 等にも配信を行って います



発達障害学生 支援に関する 調査・研究・開発

他大学等への 普及·展開 筑波大学内での 支援実践 教職員相談 ネットワーク (RADDネット)



「教職員相談ネットワーク(RADDネット)」

は、大学等の垣根を超えた発達障害学生 支援に関する教職員間の支援ノウハウの 共有を行うクローズ型SNSです

多様な専門家による発達障害学生支援の e-learningのほか、学生の仮想事例検討 や情報交換/相談に活用できます

大学等の教職員は誰でも参加できます

#### 発達障害啓発マンガ



「発達障害啓発マンガ」は、発達障害当事者の職員が発達障害の特性 や生活上の困難について分かりやすくまとめたマンガです

著作権放棄(CC0 1.0)をしているので自由に複製・印刷・再配布・改変などができます

WEBサイトから誰でも画像・PDFダウンロードが可能です





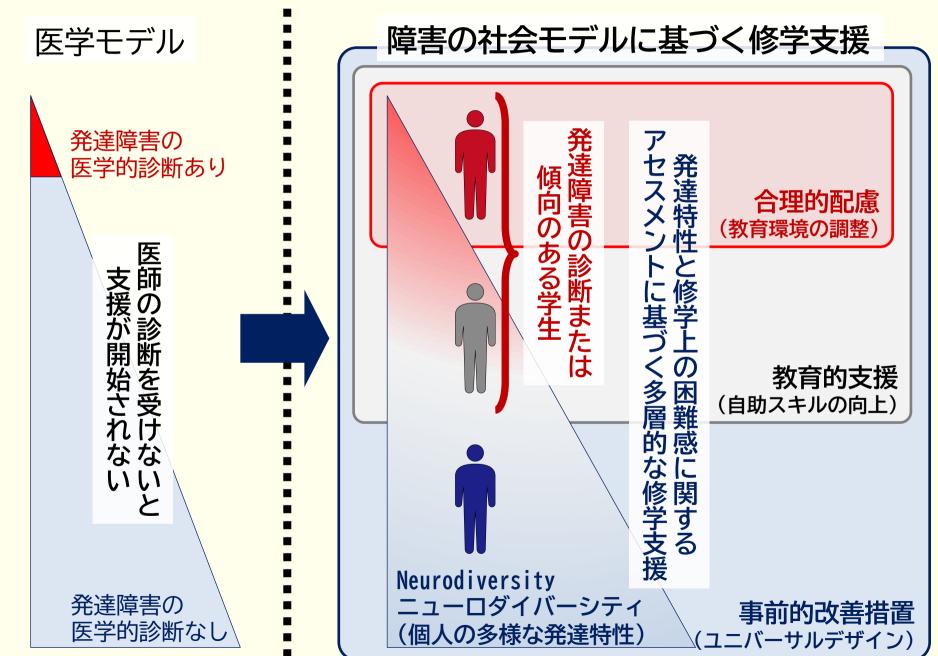
筑波大学 DAC センター 発達障害学生支援 プロジェクト

Reasonable Accommodation for Developmental Disabilities

他にも、様々な研究・実践活動を行っています ご関心のある方はぜひ、ご確認ください! https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/



## 筑波大学における発達障害学生支援





### ニューロダイバーシティ (neurodiversity)

#### 算数障害

数概念や計算の困難

© DANDA

#### 発達性協調運動障害(DCD)

プランニング,運動の困難 追跡やバランスなどの協調の困難 空間認識の弱さや筋緊張

> 光, 音, 触覚, 温度に対する 過敏/鈍感性 会話や言語の困難

#### 脳の多様性

組織化, 記憶, 集中, 時間, 管理, 知覚, 系列化の困難 聞くスキルの弱さ

他者の気づきなしでは 自己効力感の低下や 不安, 抑うつをもたらす

#### 読字障害(ディスレクシア)

読み, 書き, 綴り等の言語の困難 非線形思考への関心

> 集中力の不足 被転導性

#### 自閉スペクトラム症(ASD)

社会的コミュニケーションの困難 興味・関心の偏り 想像性の違い

トゥレット症候群

音声・運動チック

#### 注意欠如·多動症(ADHD)

衝動性や気分の波 多動性, 低欲求不満耐性 不注意や過集中

発達障害を"疾患"とみなす「医学モデル」からの転換発達障害は"全ての人間の多様な脳特性における差異"とみなす「社会モデル」の考え方"定型"に近づけることを支援の目的とせず、1人1人のニーズに即した支援を基盤とする



## ニューロダイバーシティの歴史

#### ニューロダイバーシティの発起

- 1990年代後半に複数の当事者等より提唱 (Jane Meyerding, Harvey Blume, Judy Singerなど)
- オーストラリアの社会学者Judy Singerが1999年に論文を発表
  - 母親と娘がアスペルガー症候群で、Singer自身も自閉スペクトラム

#### ニューロダイバーシティ運動

- 1990年代に自閉症当事者・家族によって始まった社会運動
- 自閉権利運動(Autism Rights Movement)にもつながる
- 反治療的(anti-cure)の視点で、障害は個人の問題ではなく、社会構造の問題により 生じるという主張
- 後に自閉症当事者だけでなく、ADHD、ディスレクシア、統合失調症等にも運動が派生

### 未だ論争が尽きない概念

- 治療・介入は必要か?
- 障害が不明瞭になるのではないか?





### ニューロダイバーシティと雇用

### 組織におけるニューロダイバーシティ雇用

- -Krzeminska et al. (2019)
  - Journal of Management & Organization 特集号
- 2013年以降、著名な企業で、面接を重視しない包括的な採用アプローチを導入
  - SAP、マイクロソフト、DXCテクノロジー、EY(アーンスト・アンド・ヤング)、JPモルガン・チェース、フォードなど
- ASDをはじめとする神経発達症者の特徴と能力に関心を持つようになった
  - 反復的なパターンを好むことで他の従業員よりも仕事の耐性がある 等



## 脳の多様性を活かした教育・支援

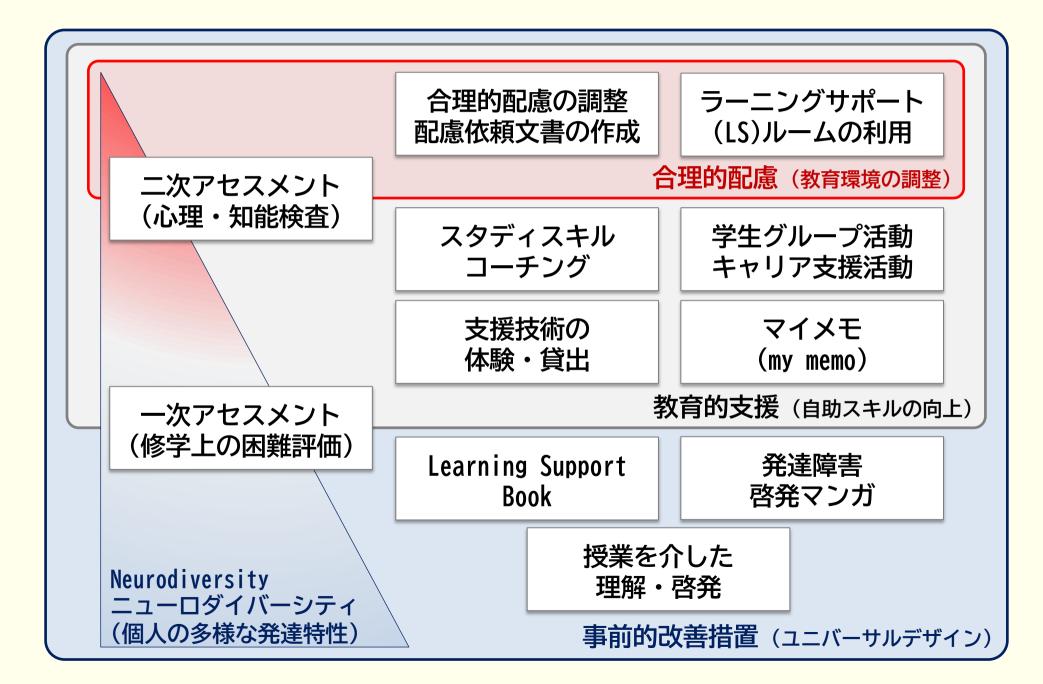
### トーマス・アームストロング

- アメリカの教育研究家
- 脳の多様性の8つの原則(2013)
  - 1. 人間の脳は機械ではなく生態系に似ている
  - 2. 人間も人間の脳も、能力の連続体のどこかに位置する
  - 3. 人間の能力は所属する文化の価値観で決まる
  - 4. 障害があると見られるか、才能に恵まれていると見られるかは、生まれた場所と時 代で決まる
  - 5. 人生で成功する鍵は、まわりの世界のニーズに脳を適応させること
  - 6. 人生で成功するには、個性的な脳のニーズに合わせてまわりの世界を修正すること も必要(ニッチづくり)
  - 7. ニッチづくりには、個性的な脳をもつ人特有のニーズに合う職業や生き方の選択、 支援ツール、支援者など人生を豊かにする手立ても必要
  - 8. 積極的なニッチづくりは脳に直接働きかけ、ひいては周囲に適応する能力を高める

「本人を周囲に合わせる」 ということも大事だけど 「周囲の環境を本人に合わせる」 ことも同じくらい大切

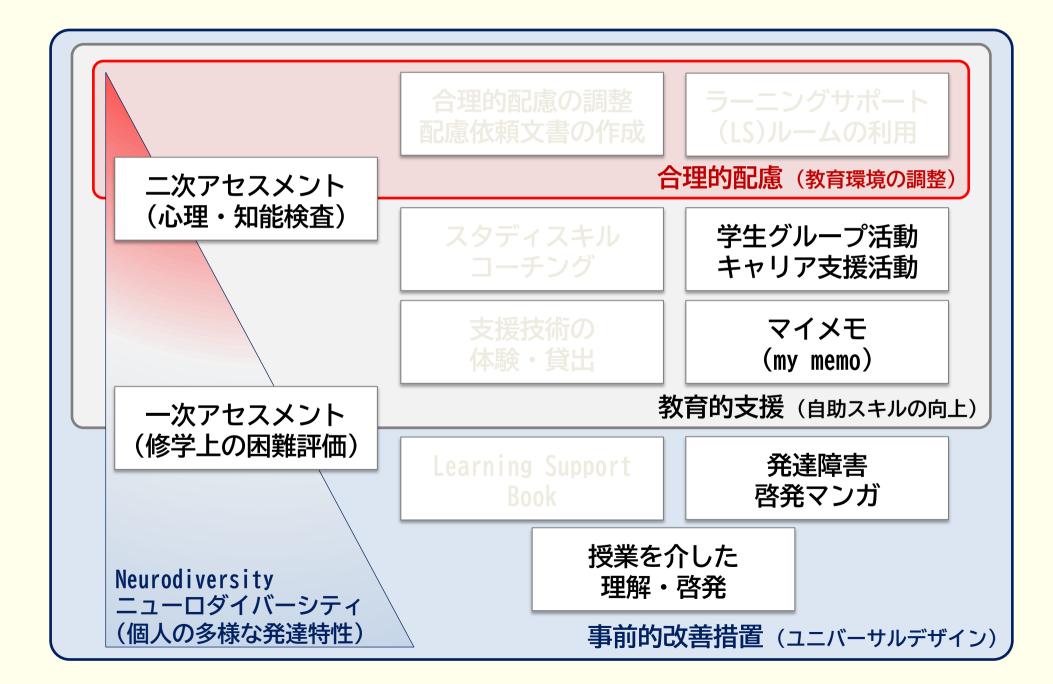


## 多様な発達特性を有する学生支援





## 多様な発達特性を有する学生支援





### 授業を介した才能の活用

#### 大学院共通科目「脳の多様性とセルフマネジメント」

- 哲学、理学、社会工学、情報学、生物学、心理学、障害科学、医学、看護学、体育学、 芸術学、図書館情報学など**多様な専門の大学院生約60名が2日間の集中授業に参加**
- チームメンバーの強み(凸)を組み合わせ、誰かの弱み(凹)を補うような新事業・商品を考える「凸凹アイデアソン」を実施
- 例:コミュニケーションが苦手な学生向けの新事業 『絶対にしゃべってはいけない交流会』の企画

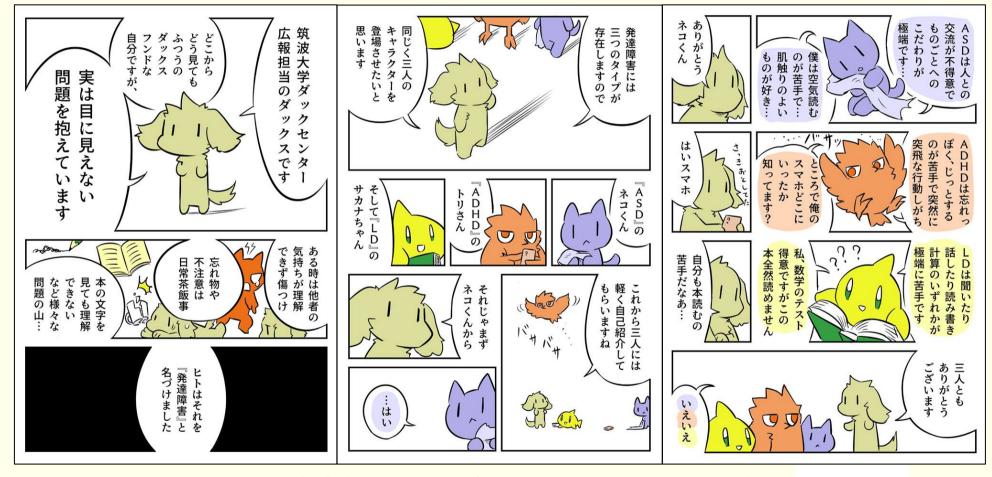






## マンガを通した理解・啓発活動

### 発達障害当事者の職員によるマンガ



多くの人に啓発するため、発達障害啓発マンガはCCO 1.0ライセンスを適用 発達障害啓発マンガは自由に複製・印刷・再配布・改変OK! https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/joint-base/manga/

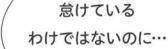




### 個別の心理・教育的アセスメント

理由はわからないけれど、

うまくいかない ことが多い





などと悩んでいるみなさんへ

個別の心理・教育的 アセスメントのご案内



筑波大学では、多様な学生が 自身の能力や特性をよりよく理解し、 社会の発展に広く貢献できる 人材の育成を目指しています

#### 筑波大学

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)

#### こんなことで困っていませんか?

スマートフォンや 財布をしばしば 失くしてしまう やるべきことを ついつい先延ばしに してしまう 日々の 生活リズムが 不規則に なってしまう



やるべきことが 重なると、どれから 手を付けていいか わからなく なってしまう

人と コミュニケーションを とることに負担を 感じてしまう

など

このような困りごとは、<mark>自分自身の発達上の特性</mark>と関連していることがあります。 アセスメントを通して、そのような特性と困りごとの関連について考えてみましょう。

#### アセスメントとは?

DACセンターで、専門の先生(アセッサー)によるアセスメント(心理・知能検査)を受けることができます。

アセスメントでは、質問紙やアンケートに答えたり、専門の先生からの質問に答え たり、色々な課題やクイズに取り組むものなどがあります。

アセスメントでは学生の希望により、以下のことが分かります。

自分の知的能力 (言葉を使う力、見る力、 記憶する力など) 自分の発達上の特性 (自閉スペクトラム症、 注意欠如・多動症の傾向)

※両方を知ることもできますし、知的能力だけ知ることもできます。

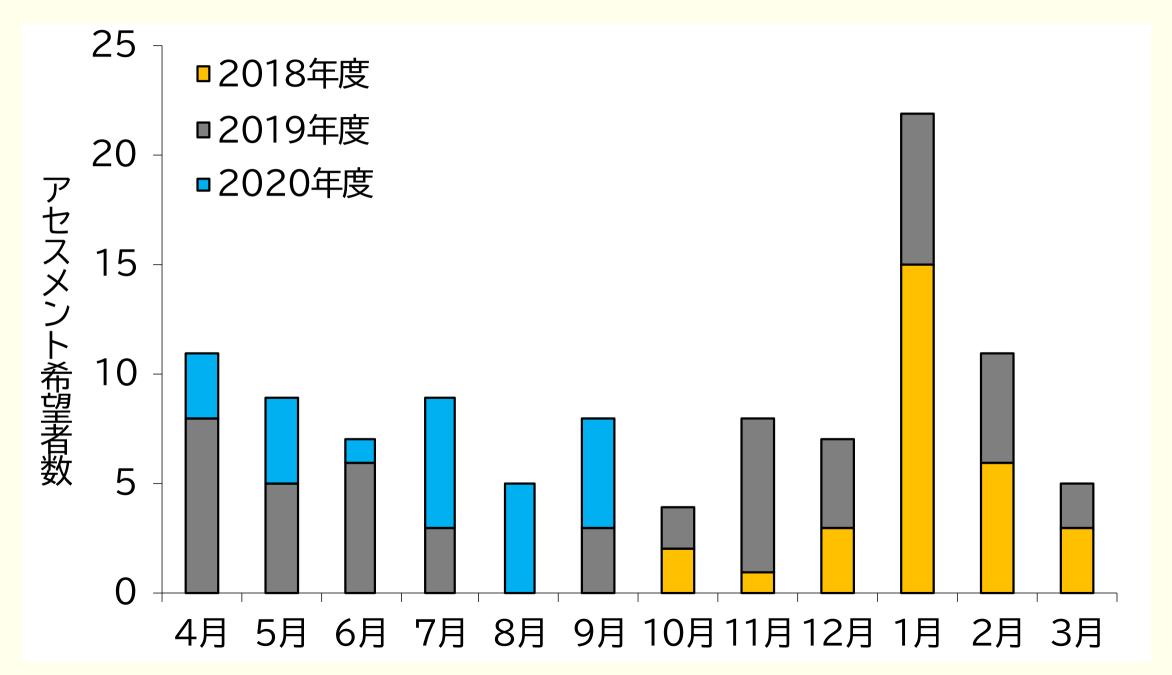
入学後、発達障害の有無にかかわらず 自身の能力や特性を 把握するための 「個別の心理・教育的 アセスメント」を実施

修学上で困った時に 「合理的配慮」からスタート するのではなく、 「自己理解」からスタート



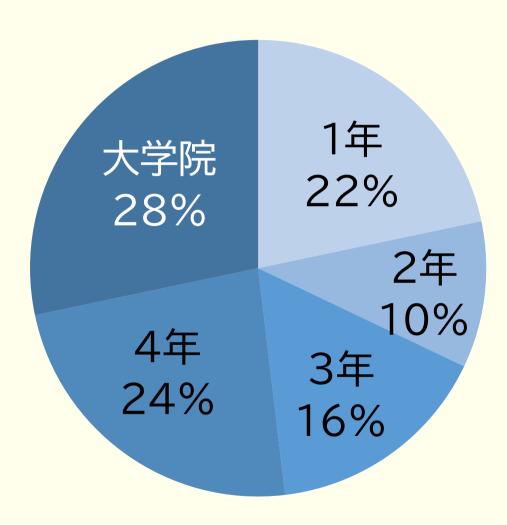


## アセスメントの動向(2018年10月~2020年9月)

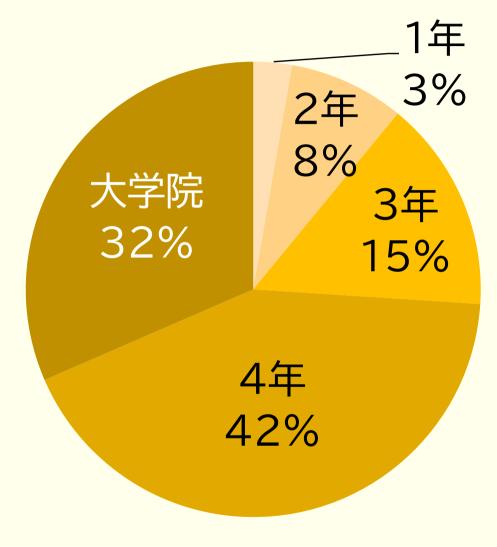




### アセスメントの動向(学年)



**アセスメント希望者** (2018年10月~2020年9月)



**発達障害 支援利用学生** (2020年5月時点)



## 学生グループ活動

### 多様な発達特性のある学生同士が集まるグループ活動

- 自分のこと・他人のことを知る (自己理解・他者理解)
- 困った時の対処法や工夫をシェアする (対処法の発見)
- お互いに話せる人を見つける(友人・コミュニティづくり)

研修を受けた学生 ピア・チューター も参加

学生生活エンパワメント グループ

#### 【内容】

学生生活で困っていること、 悩んでいること、疑問に思うことを話し合う 「工夫」や「解決策」を共有することで、 学生それぞれの解決策の幅を広げる



みんなでもくもくと 自分の作業をする会



#### 【内容】

自分の作業(レポート課題、研究活動等)を自分のペースで進める会

会話は特にないので、少人数での作業が はかどる方や1人だとやる気のしない方向け

## 発達障害当事者 グループ



#### 【内容】

自身の発達障害の特性について話し合ったり、 障害に関する制度や仕組みを聞いたり、 発達障害に関する書籍の読書会などを行う 「発達障害」をよく知り、上手く使う

#### 朝活 ミーティング



#### 【内容】

生活リズムを整えるのが苦手な人向けに、 **朝からみんなで一緒に活動** = 「朝活」をする 優雅な気持ちで朝の時間を過ごします



## 障害のある学生のキャリア支援

#### 各種イベントの開催・機関との連携

- 「障害者手帳取得のメリット・デメリット」に関するグループ活動
  - 基本的な知識を得る機会を用意
- 発達障害当事者によるキャリアセミナー
  - 外部の発達障害当事者をお招きして、働く時に困ったことや対処法などを共有
- 発達障害の傾向がある学生向け就職活動準備講座
  - 外部の就労移行支援機関の方をお招きして、「働くとは何か?」を考え、実際に職業体験をする2日間の講座を実施
- 障害学生と企業の交流会~Career×Disability~
  - 障害学生の企画チームが主体となり、障害者雇用にこれから取り組む企業等と障害学生の交流
- 障害学生のOB・OGネットワーク
  - 卒業・修了した障害学生のうち同意の得られた学生について、在学生が卒業後のことを相談できるネットワークの構築を開始
- 障害学生向け・企業向けキャリア支援ガイドの作成
  - 在学する障害学生向けと障害学生の雇用を考えている企業向けのガイドを公開
- 外部の就労支援機関との連携
  - 外部のインターンシップ・プログラムを紹介(例:ACE, IBM)
  - 障害者就業・生活支援センターに依頼して、出前講座の実施や相談連携



## 障害のある学生のキャリア支援





ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター、学生相談室連携 特別講座

#### 就職活動準備講座2016

#### 「働く」ってどういうこと?

発達障害があったり、コミュニケーションや人間関係に苦手さを抱えている 学生のみなさんを対象とした、就職活動準備講座です。

同じ不安や困り感を抱える参加者の人たちと悩みを分かち合ったり、 グループワークや仕事体験を実際に行ってみることで、 仕事に活かせる自分の強みに気づくと同時に、 在学中にどのような準備をしていくとよいかを考えるための講座です。 貴重な機会ですので、是非参加を検討して下さい。

#### <こんな「悩み」や「望み」に効く講座です!>

〇コミュニケーションに困り感を抱えている

〇就活や社会で働いていくことができるかとても不安

○事務等の仕事を知りたい・体験したい

○働く上で大切なマナーやスキルを知りたい ○一緒にがんばれる仲間がほしい

○卒業までにどんな力をつけていったらよいか知りたい・・・etc.

#### **くプログラム>**

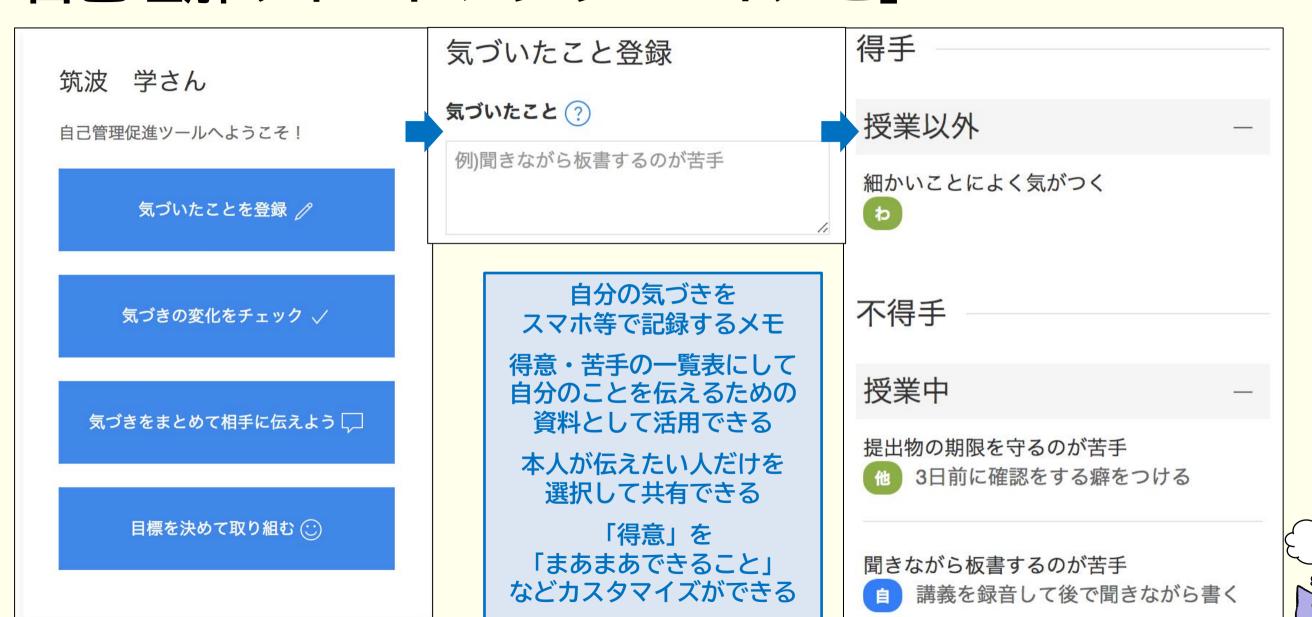
日にち	時間		内 容			
事 前 面 談(個別)						
1コマ目 11時~12時		11時~12時	オリエンテーション/しゃべり場「働くって?」			
1日目 2月20日 (月)	ランチタイム	12時~13時	休憩 ※ランチミーティング開催(自由参加)			
(7.7)	2コマ目	13時~15時	職場体験 その①			
2日目	1コマ目	10時30分~12時30分	職場体験 その②			
	ランチタイム	12時30分~13時30分	休憩 ※ランチミーティング開催(自由参加)			
,,,,	2コマ目	13時30分~14時30分	しゃべり場「自分に合った働き方って?」			

#### 就職活動準備講座

事後面談(個別)



## 自己理解サポートアプリ「マイメモ」



佐々木ら(2018)全国障害学生支援協議会第4回大会

### マイメモの活用状況

### モニター協力者募集

#### 自己理解促進ツール活用講座

~自分の得意・不得意を整理してみよう!~

#### こんな方にオススメです!

- ☑ 自分の得意・苦手を整理したいけど、どうすればよいかわからない
- ☑ なんとなく自分の特徴はわかるが、整理したことはない
- ☑ そもそも自分の得意・苦手がわからない
- ☑ 就活や就職の役に立ちそうなので興味がある

### RPP

#### <モニターの手順と内容>



- a. モニター期間は3か月間です。
- b. 本自己理解促進ツール活用講座にまずはご参加ください。
- c. 内容は、①講座前/3か月後に2種類のアンケート調査への ご協力、②モニター期間中にツールの使用、③モニター終 了後のインタビュー調査への協力、です。
- d. 上記①~③分の謝金として、③終了後に10,000円(クオカード)をお支払いします。
- ◆日時: A 日程 7月4日(水) 13時30分~15時(90分間) B 日程 7月9日(月) 13時30分~15時(90分間)
  - ※ A 日程か B 日程、参加可能なものを選んでご参加ください。 (A 日程、B 日程ともに内容は同じです)
  - ※日程が合わないが参加を希望する場合は個別対応します。
- ◆場所:就職課・会議室 (スチューデントプラザ2階)
- ◆持ち物:インターネットにつながる端末(スマホやノートPCなど)、筆記用具
- ◆申込方法:①氏名、②メールアドレス、③電話番号、④参加希望の日程、 を明記の上、以下のメールアドレスまでお送りください。 締切は6/30までです。

E-mail: suetomi.mayumi.fp@un.tsukuba.ac.jp

※本講座は科研費・挑戦的研究(萌芽)に採択され実施しています。発達障害のある、もしくは傾向のある学生のみなさんの自己理解を支援するツールの開発を目指しています。

### 【トライアル講座】

2018年度にマイメモのトライアル講座を実施

### 【対象】

合計19名(前期10名、後期9名)の発達障害学生(未診断含む)を対象

### 【方法】

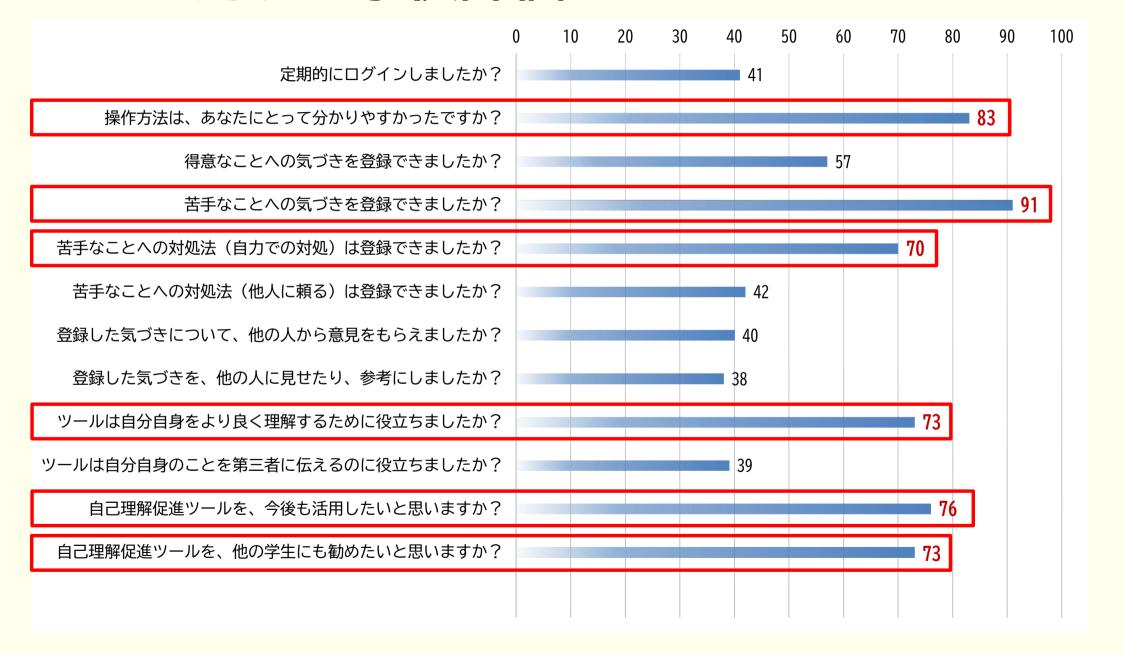
モニター期間として約3か月間、 実際にツールを使用

### 【分析】

- 自己効力感尺度(pre/post)
- 大学生用レジリエンス尺度(pre/post)
- 事後アンケート調査
- 事後インタビュー調査



### マイメモに対する事後評価





## マイメモがつなぐ場を超えた本人中心の情報共有

高校・大学から就職活動までの情報をICTツール連携で一気通貫! 学校生活全般(高校・大学) 就職活動中 生徒 【Boosterキャリア】 (my memo) 学校生活を通じた 記録の蓄積 企業とのマッチング 自己理解促進 学生 システム 連携 学内支援者による支援 支援者 学外支援者による支援 支援の場、人を超えた本人中心の情報共有と引き継ぎ

高校・大学・就職まで マイメモを活用して 「本人」が作る 自分のための支援計画

合理的配慮の提供に 必要な情報を引き継ぎ 共有する

大学等の垣根を超えて 支援を「つなげる」

科研費 基盤研究(B)20H01692

【代表:佐々木銀河】

「ICTツールを用いた多様な発達 特性を有する学生の高校・大学・ 就労接続支援」

